

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、国立国際医療研究センター病院 循環器内科では、以前に特定の研究課題にご協力いただいた方の検体・診療情報等の提供を受けて、新たな研究課題の実施に利用しています。

この共同研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の本センターでの研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下記の本センターでの研究内容の問い合わせ担当者、もしくは参加されている各研究機関の研究責任者または問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[新たな研究課題名] 原発性アルドステロン症の遺伝素因とその臨床的意義に関する研究

[新たな研究課題の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関：国立国際医療研究センター病院

研究代表者：国立国際医療研究センター病院研究所 遺伝子診断治療開発研究部長 加藤 規弘

[提供を受けている検体・情報の由来者（研究対象者）]

各共同研究機関において、以下に示す研究課題への協力にご同意いただいている方

- 国立国際医療研究センター病院（当院）：004669「原発性アルドステロン症の遺伝素因とその臨床的意義に関する研究」（研究責任者：富所大輝）、000222「高度総合医療体制に基づく、心血管病の統合的な臨床開発研究基盤の構築とその活用（研究責任者：廣井透雄）、004309「心血管系疾患の精密医療実用化を目指した研究(PREC-CVD)」（研究責任者：加藤規弘）
- 横浜労災病院：「アルドステロン産生腺腫と特発性アルドステロン症の新たな鑑別診断法開発のための研究」（研究責任者：鶴谷悠也）
- 東京医科歯科大学：G2016-002「副腎腫瘍の早期診断バイオマーカー開発に関する研究」及びM2018-269「内分泌腫瘍のオミクス解析」（研究責任者：山田哲也）
- 東北大学：研究課題「副腎疾患の臨床診断および病理学的成因に関する前向き観察研究」（研究責任者：小野美澄）及び「機能性副腎皮質疾患におけるステロイドホルモン過剰・腫瘍発生の病態解明」（研究責任者：山崎有人）

[提供を受け、本センターで利用している検体・診療情報等の項目]

検体：DNA

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、遺伝子型など

[利用の目的]（遺伝子解析研究：有）

原発性アルドステロン症の遺伝素因とその臨床的意義についての解明を目的とした共同研究実施

[利益相反について]

利益相反の状況は、研究代表機関においては NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告しその指示を受けて適切に管理します。共同研究機関においてはそれぞれの機関のルールにのっとり適切に報告・管理されます。

[研究の資金源]

本研究は、以下の研究資金により実施します。

令和5年度国際医療研究開発費（研究代表者：加藤 規弘 研究期間：令和5年10月1日～令和7年9月30日）

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：研究の実施許可日より 2029 年 3 月 31 日までの間（予定）

提供方法：直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

検体は郵送・宅配、診療情報等は電子的配信にて、研究代表機関である国立国際医療研究センターに提供されます。

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないよう加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：国立国際医療研究センター 理事長 国土 典宏

研究責任者：国立国際医療研究センター 循環器内科 レジデント 富所大輝

研究内容の問い合わせ担当者：国立国際医療研究センター レジデント 富所大輝

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

作成日：2023 年 12 月 14 日 第 1.0 版